



遺構変遷図

藤原宮造営期

- ① 周辺一帯の整地をおこない、先行朱雀大路を造る。
- ② 藤原宮造営の資材を運ぶための運河・斜行溝 A を掘削する。
- ③ 運河・斜行溝 A を埋め、斜行溝 B を掘削する。南門周辺は、朝庭より一段高く造成し、排水溝として南北溝 2 を掘る。
- ④ 朝庭一帯の整地をおこない、東西暗渠・南北暗渠の排水施設を設置する。その後、礫を朝庭全面に敷く。南北溝 1 を造り、通路状施設を設ける。

藤原宮期

- ⑤ 幡などの朝庭でおこなわれる儀式用の諸施設を設置する。